

子ども達は手洗いうがいが身に付いてきたこともあり、大きく体調を崩すことなく過ごせています。日々の検温等、ご家庭での健康管理のご協力ありがとうございます。今月も気温が低い日が続きますが、この調子で乗り越えていきましょう。

3月8日から進級という事で、うさぎ組で過ごす時間も残りわずかとなりました。進級に向けてお兄さんお姉さんを意識する事も増えた子ども達。今月は、幼児クラスに遊びに行く機会を作ることで環境に慣れ、子ども達が安心して進級できるよう支援していきます。2月号では、先月号に続き幼児クラスに向けてクラスで取り組んでいる事、子ども達に身に付けてほしい事についてお伝えします。

自分でできるかな??

着脱…自分で脱ぎ着をする事、裏返しを直す、服の前後を正しく着る、脱いだ物を畳んでしまう
衛生面…戸外遊び後の手洗い・ガラガラうがい、排泄後の手洗い、
食事…エプロンを付けずに食事をする、食事前後の手洗い、食後の口濯ぎ・ぶくぶくうがい

クラスではこんなことを子どもたちと一緒に練習しています。少しずつできるようになってきているからこそ、服を丁寧にたためているか?手洗いでは洗い残しなく石鹸を流せているか?水の量は適量か?等、より一層丁寧にできるよう言葉を掛け支援しています。その際に大切にしているのが気づきの力です。今何をするかを伝えるだけでなく、自分で気づいて行動できるよう「次は何をしたらいいかな?」等子どもたちに問いかけながら過ごしています。

活動では、今まで1人の大人に対して5人ほどの少人数で活動をしてきましたが、幼児クラスを見据えて、10人程の人数での活動を取り入れています。集団での活動の中では、大人の話聞き、行動に移せる力も大切になってきます。気づきの力、話を聞く力を身に付けられることで進級後の子どもたちの困り感はぐんと減ります。

うさぎ組では今、自分の身の回りのことをやろう!やってみよう!という気持ちが大きくなってきています。そこでお願いです。今後ロッカーの服の出し入れも子どもたち自身で行うようになりますので、服の出し入れがしやすいよう、点検をお願いします。また、洋服、靴、上着等自分たちで着脱のしやすい素材、大きさの物になっているか再度ご確認ください。

先月もお伝えしましたが、できないといけないというわけではなく、できない・難しいという時には自分から大人に言える・発信できるという事が大切です。困っている時にシクシクしていたりしている時は、まず「どうしたの?」と問いかけ、子ども達からの言葉を待つようにしています。始めは大人が代弁することが多かったですが、今では「〇〇ができないから手伝ってください」と伝えられるようになった子も。困っていることを支援するのはもちろんですが、伝えられたことも見逃さずに褒めることで「気持ちを伝える」ことへの自信にも繋がります。

一緒に遊ぼう♪

戸外では「しっぽとり」のようなルールのある集団遊びを12月頃から取り入れ、今では大人が見守る中で子ども達同士楽しめるようになってきました。そこで、室内では2~4人程で遊べるボードゲームを用意しました!始めは戸惑う様子もあり大人が中心となって遊んでいましたが、繰り返し遊ぶうちに「次は〇〇ちゃん!」と順番を意識したり、勝ち負けを味わって喜んだり悲しんだりしながら楽しんでいます(#^^#)

また、お医者さんごっこのような役割遊びも大盛り上がり!自分が体験したことを道具や人形を使いながら再現しています。引き続き、遊びを通してルール(順番や待つこと等)を守って遊ぶと楽しい!という経験をたくさんできるようにしていきたいと考えています。